

第五十八回帝國議會  
衆議院

輸出補償法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案  
輸出補償法案(政府提出)

會議

昭和五年五月五日(月曜日)午前十一時  
六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡崎久次郎君

理事 中 亥藏男君  
理事 丹下茂十郎君

飯塚春太郎君 松井文太郎君  
最上 政三君 前田房之助君

古賀 政一君 竹田 儀一君  
矢野庄太郎君 山崎 猛君

佐々木平次郎君 上田 孝吉君  
田口 文次君 勝田銀次郎君

太田信治郎君  
同月三日委員戸部良祐君及田邊熊一君  
辭任ニ付其ノ補闕トシテ原吉郎君及佐々木平次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ  
商工大臣 俵 孫一君

出席政府委員左ノ如シ  
農林參興官 山田 道見君  
商工政務次官 横山勝太郎君

商工參興官 野田文一郎君  
商工省商務局長 川久保修吉君

商工書記官 寺尾 進君  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

輸出補償法案(政府提出)

第五類第二號 輸出補償法案委員會會議錄 第四回 昭和五年五月五日

●岡崎委員長 只今カラ開會致シマス、佐々木君

●佐々木委員 ソレデハ御許ヲ得マシテ二三質問ヲ致シテ見タイト思ヒマス、本法案ノ第一條ニ依リマスと云フ

ト「政府ハ本法施行地内ニ住所又ハ營業所ヲ有スル者ガ内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ於テ生産、製造又ハ加工セラレタル商品ヲ云々」トアリマス、承リマス

ルト、一昨日委員長ヨリモ私ガ今御尋スル點ニ對シマシテ御尋ガアッタサウデアリマスガ、尙ホソレト同様ナコト

ヲ更ニ御尋シタイトデアリマス、之ニ依リマスと云フト、朝鮮、臺灣、樺太ハ、是ハ日本ノ領土内デアリマス、ソレデアリマスカラ内地ヲ加ヘマスと、全部

我ガ領土ト申シテ宜シイト思フノデアリマスガ、御承知ノ如ク水産業ハ年々發達致シマシテ、只今デハ我ガ領海ニ非ザル海洋、即チ公海ニ於テ鮭、鱒ノ漁業、或ハ製造、加工若クハ蟹工船ノ漁業、

捕獲致シマシテ更ニ之ニ加工シテ居ル、其數量ハ頗ル多額ニ上ツテ居リマス、而シテ是等ノ製品ハ、極メテ少額ノモノガ内地ニ於テ消費セラレマス外、悉ク歐米各國ニ出テ居リマス、段々調

ベテ見マスルト、英吉利邊リニ參リマスルモノハ、更ニ是等ノ商人ニ依ツテ巴爾幹半島、又亞米利加ノ方ニ於キマシテモ、此補償案ニ指定シテ居リマス所ノ、各地域ニ隨分再輸出シテ居ルヤウデアリマス、所謂合理化ト申シマスガ、

段々進ンデハ日本ノ商人若クハ營業者ノ手ヲ經テ、新ニ今申シタ方面ニ輸出シナケレバナラヌト存ジマス、是等ノ方面ノモノモ、矢張内地ニ於テ製造加工セラレタモノト同様御認メナサルデアリマセウカ、是ガ一ツ、ソレカラ更ニ日露漁業條約ニ依リマシテ、日本ノ多數ノ營業者ガ、露西亞ノ領土内ニ、日本ノ勞働力ソレカラ日本ノ資本、總テノ物資ヲ携ヘテ行ツテ、サウシテ種々ナ漁業ヲ營ミ、之ニ加工シテ、是亦今申シタ各方面ニ輸出シテ居リマス、是等ハ矢張此法案ニ認メテ居リマス所ノ「内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ於テ生産、製造又ハ加工セラレタ商品」ト看做サル、モノデアリマセウカ、其運用ニ付テノ實際ノ御取扱ハドウ云フ風ニナリマスルカ、先ヅ之ヲ一ツ伺フテ見タイト思フノデアリマス

●川久保政府委員 只今ノ御尋ハ公海ニ於テ生産サレタ罐詰類、竝ニ勸察加

ニ於テ生産サレタ罐詰類ノ輸出ニ對シテ、補償法案ガ適用サレルカドウカト云フ御問デアルヤウニ考ヘマスガ、此輸出法案ハ内地ニ於テ生産サレタモノノ輸出ニ限ツテ適用スル趣旨デ起草致シマシタモノデゴザイマシテ、只今御話ニナリマスル、公海ニ於テ生産サレタモノ、又更ニ進ンデ露西亞ノ領土デアリマスル勸察加ニ於テ生産サレタモノハ除外スル趣旨ニ致シテ居リマス

●佐々木委員 除外致シタ理由ハドウデアリマスルカ、ソレヲチヨットハッキリ御答願ヒマス

●川久保政府委員 輸出補償法案ハ、大體我國ノ國際貸借ヲ改善スルト云フ趣旨カラ出テ居リマシテ、勸察加デ出來マスル罐詰ノ如キハ、今日ノ取扱デハ輸出トシテ統計上ニ計上セラレテ居リマセヌノデアリマス、ソレカラ勸察加方面ニ於テ生産サレマシタモノヲ、之ニ包含サセルト云フコトニナリマスレバ、同ジク日本國民ノ手ニ依ツテ、支那ノ上海又ハ青島方面ニ於テ纖維工業ヲ營ンデ居リマスルガ、サウ云フ品物ノ輸出ト申シマスルカ、或ハ支那内地ニ於テ賣捌カレルヤウナ場合ニ付テモ考慮シナケレバナラヌト云フヤウナコ

トニモナリマスルシ、大體何處カデ打切ル必要ガゴザイマスルノデ、此法律ト致シマシテハ、内地ニ於テ製造シタモノ、ミニ差當リ打切ッテ適用シテ見タイト、斯ウ云フ趣旨カラ出テ居リマス

●佐々木委員

只今ノ御答ハ、唯、露領ニ於ケル生産ニ付テノ御話デアリマシタガ、御承知ノ通り朝鮮ノ如キハ、悉ク農林省ノ獎勵ノ下ニ監督ヲ受ケテ經營シテ居リマス、ソレカラ其資本モ、亦船舶ノ從業員モ、悉ク日本人デアリマス、ソレデアリマスルカラ之ヲ例ヘバ函館ガ根據地デアル、或ハ小樽ガ根據地デアアル、若クハ最近富山縣ノ如キモ此事業ヲ營ンデ居リマス、是等ヲ支那或ハ其他ノ複雜ナ、其住所ヲ調べルコトノ出來ナイモノト同一ナ御取扱ヲナサルト云フコトハ、甚ダ不徹底デハナカラウカ、殊ニ水産ト云フモノハ、今日ハ殆ド他ノ産業ヨリモ遅レテ居ルシ、此際全力ヲ之ニ注ガナケレバナラヌト云フコトハ、朝野殆ド認メテ居ル所デアリマス、我國ノヤウナ領土ノ狭イ土地ハ、今後新規ニ産業ノ開發ヲスルノニハ、此公海ノ外ニナイト云フコトハ、是亦一般ニ認メテ居ルノデアリマス、此時ニ當ッテ折角限リモナイ此大洋ニ於テ、無限ノ水産ヲ更ニ開發スルト云フ此時ニ當ッテ、而モ其製品ハ大部分海外ニ出テ

居ル、是モ亦能ク御承知ノコトデアリマシテ、又露領ノ漁業ニ付キマシテハ、何等ノ統計モナイト仰ッシャリマスケレドモ、是ハモウ輸出入ノ手續ヲ經テ居リマスルカラ、悉ク税關ニ依ッテ完全ナル統計ガ出來テ居リマス、又農林省、外務省ノ監督ノ下ニ、是等ノ統計ト云フモノハ最モ完全ニ出來テ居リマス、而シテ少シモ複雜デナイ、日本ノ當業者ハ、條約ニ依ッテ此權利ヲ行使シテ居

●俄國務大臣

佐々木君ノ御意見ハ洵ニ御尤ニ考ヘマス、併ナガラ川久保政府委員カラ御答シタ通り、我が内地及植民地區域内ニ於テノ製造産業ヲ保護シ、而シテ其輸出ヲ獎勵シテ、國際貸借ノ改善ヲシヨウト云フ趣意カラ出來テ居ルノデアリマスルカラ、御話ノ如キ露領及露領附近ノ公海ニ於テ製造スル所ノ水産製品、確詰ノ如キモノハ這入ッテ居ナイノデス、是ハ先ヅ議論ニ涉リマスノデ、甚ダ恐縮シマスガ、唯、其處マデ認ムルカ認メヌカト云フコトニナルノデス、成程支那邊リノ纖維工業ハ認メヌデモ、水産業ハ將來ニ於テ大ニ發展スベキモノデアルト云フ御説ハ御尤モデス、若シ水産業トシテヤルナラバ、單リ露領若クハ其附近ノ公海ト云フコトニ限ラズシテ、御承知ノ通りニ昨今ハ南洋方面ニ向ッテモ、亦我國ノ水産業ノ發達ヲ見ツ、アリ、又大ニ將來モ見ナケレバナリマスマイ、詰リ帝國ノ區域以内若クハ植民地以内ニ限定スルカ限定セヌカト云フ問題ハ、モウ少シ廣ク考ヘテ見テ意見ヲ決定シナケレバイケマイト思ヒマス、兎モ角モ此趣旨ハ、今川久保政府委員カラ説明ヲセラレタ趣旨カラ出來テ居ル、又先ヅソレニ向ッテ此法案ヲ執行シタ方ガ宜カラウト思ッテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマ

●佐々木委員

只今ノ御答デハ、唯、斯ウ云フ趣旨デ出來タト云フ、同ジコトヲ仰ッシャルダケデアッテ、私ガ御尋シタ要點ニハ一寸モ觸レテ居ナイト思ヒマス、私ハ決シテ議論スル考ハアリマセヌ、是ハ實際問題デアル、若シ南洋方面ニ同ジク日本ノ人々ガ出漁シテ、サウシテ之ヲ更ニ海外ニ出スナラバ、之ヲ含メルコトニハ何等御異議ハナイコト、思フ、然ルニ特ニ之ヲ除カレタト云フ御趣旨ハ、一向私ハ今ノ御答デハ了解出來マセヌ、サウスルト今後尙ホ之ヲ御改メ爲サルカ、私ガ今御尋シタ公海ニ於テ、段々漁業ハ盛ンニナッテ居リマス、又一方盛ンニ之ヲ獎勵シテ居リマス、而モ公海ニ於ケル漁業ハ悉ク農林省ノ省令ニ於テハ、例ヘバ根據地ヲ出帆致シマスル場合ニ、其從業員ニ對シテマデモ、皆ソレノ制裁ヲ加ヘテ居リマス、或ル場合ニハ雇人モ農林省ノ許可ヲ得ナケレバ、雇入レルコトガ出來ナイ、國內ニ於テ日本ノ法律命令ニ依ッテ仕事ヲシテ居ル者ガ、ソレガ海上ニ於テ取ツタカラト云ッテ、之ヲ内地ノ製品ト認メナイト云フコトハ、洵ニ狭イ御考ヲ持ッテ居ラレルノデハナイカト思フ、海ノ上ノコトデアリマスカラ、我が國內ト云フコトハ出來マセヌ、サウスルト全然海ノ仕事ト云

フモノハ商工省ニ於テハ御認メニナラヌ、ドウナツテモ宜イト云フ御考ノヤウニナル、私共カラ見マスレバ、陸ト言ハズ、海ト言ハズ、殊ニ領土ノ狭イ我が日本ハ海上ニ向ッテウントカラ入レテ、サウシテ今日申シマス所ノ人口食糧ノ問題ノ解決ヲシナケレバナラヌ、ソレニハ海ガ最モ宜イ、肥料モ要ラズ種モ要ラズ、而モ統計ニ依ッテ見マスルト、世界ニ日本位漁業家ノ多イ所モナク又生産ノ多イ所モナイ、是ダケノ好イ地位ニアリ、又國民ガ奮起シテ海上ニ向ッテ進出スル此時ニ當ッテ、之ニ對シテ製造セラレタルモノ、之ヲ一向助成スル御考ガナイト云フコトニナリマススト云フト、産業ノ發達ト云フモノハ何ヲ以テスルコトガ出來マセウカ、此以上申上ゲマスレバ、議論ニナリマスガ、若シサウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスルト、洵ニ遺憾ニ堪ヘマセヌ、ソレデアリマスカラ、若シ今強ヒテサウ云フ考ヲ持タナカッタカラ、斯ウ云フ程度ニ局限セラレタト仰セラレルノデアリマスルガ、近ク之ヲ御改メナサルカ、其處マデヤッテ行ク御考ガアルカナイカト云フコトヲ御伺シテ置キタイト思ヒマス、是ハ私ハ洵ニ産業或ハ貿易ニ對スル重大ナ問題ダト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、ドウカソレニ對スル明確ナ御答ヲ御願ヒシタイト存ジマス、殊ニ外務省ヲ經テ

私共ノ手ニ入りマシター——土耳其日東貿易協會ノ「コンスタンチノーブル」ノ日本ノ商品館ノ安井ト云フ人カラ私共ニ斯ウ云フ報告ガ來テ居リマスガ、今日土耳其、希臘、羅馬尼、勃牙利、即チ巴爾幹半島、此方面ニ對シテハ、今申上ゲタ公海及露領ニ於キマシテ取ル所ノ水産物ノ要求ヲ盛ンニシテ居リマス、現在ハ殆ド露西亞ノ手ヲ經テ、浦鹽ヨリ非常ナ長距離ノ高イ運賃ヲ掛ケテ持ッテ行ッテ居リマスガ、ソレデモ盛ンニ貿易ガ行ハレテ居リマス、若シ日本カラ船便ニ依ッテ是等ノ日本人ノ手ニ依ッテ取ツタモノヲ輸送シマシタナラバ、是コソ今御心配爲サツテ居ル國際貸借ノ改善モ、貿易ノ進展モ出來ル、斯ウ思ッテ私共ハ是等ノ調査ヲシマシテ、サウシテ出來ルダケ是等ノ方面ニ日本人ノ取ツタ品物ヲ送ッテヤリタイト斯ウ思ッテ居リマスノニ、全然之ヲ除イテ願ミナイト云フヤウナ御趣旨ニナリマスナラバ、是ハ洵ニ産業貿易ノ爲ニ私ハ遺憾ニ存ジマス、ドウゾ之ニ對スル御答辯ヲ御願ヒシマス

君ノ御意見ニ吾々一寸モ反對デモ何デモナイ、唯、此輸出補償制度ヲソレニ適用スルカ、セヌカト云フ點ニ於テノ相違デアアル、ソレハ先刻申シマシタ如ク、唯、單リ露西亞ノ領海、若クハ其附近ニ於ケル所ノ水産業ノミヲ見テ、判斷スル譯ニハ行カヌ、私産業ニ付テ考ヘマスルナラバ、南洋方面ニ於テモ、今現ニヤリツ、アルシ、又今後モ大ニ發展スベキ部分デアアルノデアリマスカラ、是モ考ヘテ行カナケレバナラヌ、ソコデ此問題ニツキマシテハ、此處デ直ニ判斷スル譯ニハ行カヌト思ヒマス、近ク考慮スルカ、セヌカト云フコトニ付キマシテハ、研究ハシテ見ルガ、一寸私ハ其處マデ此制度ヲ擴ゲルト云フコトハ見込ガアルカナイカト仰セラレラナラバ、考慮シテ見タイト云フコトヨリ外ニハツキリシタコトハ申上ゲラレマセヌ

●佐々木委員 是ト關聯シマシテ、農林省ノ政府委員ニ一寸御出席ヲ要求シマス、ソレカラ其次ニ御問ヒシタイト思ヒマスルコトハ主トシテ此思典ト申シマスルカ、之ニ浴スルモノハ、商品ヲ賣リマシタ所ノ代金ニ對シテ振り出シマシタ所ノ荷爲替ノ手形、或ハ約束手形ニ對シテ補償スルト云フヤウニ承知シテ居リマスガ、主務大臣ノ指定スル地域ハ、露西亞ト巴爾幹半島、南米、ソレカラ阿弗利加ナドデアリマスガ、露西亞ニ對シテハドウ云フ風ナ手續ヲ以テ荷爲替ヲ爲サルカ、其取扱方法ニ付テ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレマスルカ、之ヲ一ツ御聽キシタイト思ヒマス、若シ是ハ大藏當局デナケレバ御答ガ出來ヌト云フコトデアアルナラバ大藏當局ノ御出席ヲ求メマス

●川久保政府委員 露西亞ニ對スル輸出貿易ハ、御承知ノ如ク露西亞ノ通商代表ガ内地ニ參ッテ居リマシテ、其通商代表トノ契約ニ依ッテ貿易ヲ爲スノデアリマスガ、此通商代表ハ約束手形ニ依ッテ商品ヲ買取ッテ居リマスノデ、ソレデ露西亞ニ對スル補償法ノ適用ハ此約束手形ヲ銀行ニ買取ラセルト云フコトニ依ッテ此法ヲ適用シタイト思ッテ居リマス、約束手形ハ只今ノ取扱デハ、通商代表ノ手許ニ荷物ガ着イタ後ニ約束手形ヲ向フハ出シテ居リマスガ、其約束手形ニ付テ銀行ガ割引ヲスル、ソレニ付テ損失ガ起ツタナラバ、銀行ニ對シテ政府ハ補償ヲスル、斯ウ云フ風ナ手續ニナルノデアリマス

●佐々木委員 今政府委員ノ申サレマシタ如ク、露西亞ノ今日ハ世界ニ類例ノナイ經濟組織デ、世界ニ二ツトナイ所ノ主義ニ依ッテ行ハレテ居ルト思ヒマス、露西亞ノ國內ニハ總テノ産業、總テノ營業ト云フモノハ全部國家ガ營業シテ居ル、即チ國營デアリマス、今仰セ

ラレマシタ日本ニハ通商代表ナル者 貸借改善ト云フ方ニハ何ノ關係モナイ 係ノ改善ト云フモノヲ、ドウシテ爲サケレドモ、彼等ハ日本ニ來テ品物ヲ手  
 ガ來テ居リマス、是ガ即チ國家企業ノ 卜私ハ思ヒマス、殊ニ國際貸借改善ト ルデアリマセウカ、其爲替ノ何等ノ機  
 一ツノ役人デアリ、商業ヲ營ンデ居ル 仰セラレマスルガ、露西亞ニ對シテハ 關ノナイ所ニ……ソレデアリマスカ  
 商人デアリマス、ソレデアリマスカラ ハナイト思ヒマス、現ニ私共ガ露西亞 亞ノ通商代表ガ日本ニ於テ物ヲ買ヒマ  
 他ノ國ト違ヒマシテ、露西亞ノ產物ヲ ノ浦鹽ニ於テ仕事ヲ致シマスル場合 シラモ、英米其他ノ國々ノヤウニ爲替  
 日本ニ輸出スル場合ニ於キマシテハ、 二、支拂スル所ノ露西亞ノ貨幣ヲ手ニ ガ出來マセヌ、出來マセヌガ爲ニ約東  
 即チ日本ニ賣出シマスル場合ハ悉ク此 求メルコトガ出來ナイト云フ状態デア 手形ヲ以テ買ハナケレバナラナイ、此  
 通商代表一人デアリマス、又日本カラ リマス、強ヒテ求メント致シマスレバ、 爲替ガ出來ナイト云フコトハ日本人ノ  
 品物ヲ買ヒマス、即チ日本カラ言ヒマ 神戶ニアリマスル所ノ大「バンク」ノ手 爲ニ非常ニ不利益デアリマス、ソレカ  
 スレバ輸出ヲ致シマス場合ニ於キマシ ラ經ナケレバナリマセヌ、露西亞ハ今 約束手形ヲ以テ日本ニ於テ購入スル  
 テハ、相手ハ是亦一人デアリマス、ソレ デアリマスルカラ露西亞ト日本トノ輸 出云フコトハ露西亞ノ爲ニハ非常ナル  
 出輸入ト云フモノハ、露西亞ノ方ニ於 キマシテハ輸出共ニ唯、相手ガ一人ア 便利デアリマス、サウスルト此法案ハ  
 ルノミデアル、日本ニ於キマシテハ、之 來マス時ニハ、全部其金ヲ取上ゲル 露西亞ニ對シテハ——外ノ國ハサウデ  
 ニ賣リマスル人ハ何十人、何百人デア ノデハアリマセヌガ、兎ニ角持ッテ居タ アリマセヌカ、露西亞ニ對シテハ、露西  
 ル、ソレデアリマスルカラ輸出入ノ調 ダケラ皆浦鹽ニ居ル知己ナリ其人ニ渡 亞ノ國ノ便宜ヲ圖ル、日本ノ爲ニハ非  
 節ヲ取リマスルノニモ、一人デアリマ シテシマッテ、日本ニ持歸ルコトハ出來 常ナ不利益デアアル、斯ウ云フ結果ニナ  
 スルカラドシナニモ出來マス、私ノ承ッ マセヌ、又何等カノ手續ニ依ッテ、哈爾 ン品物ヲ持ッテ來マスルト、農産物デモ  
 テ居ル所ニ依リマスルト云フト、露西 賓邊リニ於キマシテ露西亞ノ貨幣ヲ手 賣リマスル物ハ現金デアリマス、サウ  
 亞ハ一ツノ方針ヲ立テマシテ、自國ニ外 ニシマシテモ、之ヲ露西亞ノ國ニ持ッテ シテ買フ物ハ悉ク延買デス、是ハ洵ニ  
 國カラ輸入スルモノヲ、自國ノ產物ヲ 行クコトハ出來マセヌ、貨幣——貨幣 面白イ話デ、露西亞カラ見マスルト日  
 海外ニ輸出スルモノニ比ベマシテ、輸 ト申シマスルト紙幣モ含ンデ居リマス ル本ニ空手デヤッテ來テ、サウシテ俗ニ所  
 出ニ對シテ輸入ハ約八十「パーセント」 ルガ、出スコトモ持ッテ來ルコトモ許シ 謂人ノ揮デ相撲ヲ取ッテ居ル、其結果更  
 フ基準トシテ居ルヤウニ聞イテ居リマ テ居リマセヌ、斯ウ云フ國ハ世界中尋 ニ進ンデドウ云フ風ニナルカト申シマ  
 ス、ソレデアリマスカラシテ露西亞ト テモ私ハナイト思ヒマス、日本ハ金ノ 固ヨリ日本人モ露西亞人モ對等ノ權利  
 日本トノ貿易ガ盛ニナレバナル程、二 輸出ヲ禁止シテ居リマシタケレドモ、 マスル日「ソ」漁業條約ニ依リマシテ、  
 割ト云フモノハ何時モ輸入ガ日本ニ對 紙幣ハ差支ナカッタト思ヒマス、自國ノ 能ク斟酌シマシテ適當ニ決メタイト思  
 シテ多クナルヤウナ計算トナリマス、 貨幣ヲ持ッテ出ルコトモ持ッテ入ルコト ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス  
 之ニ對シテ補償ヲ致シマスレバ、殆ド 貨幣ヲ持ッテ出ルコトモ持ッテ入ルコト 固ヨリ日本人モ露西亞人モ對等ノ權利  
 モ出來ナイ其國トノ貿易ノ國際貸借關 ノ下ニ漁業權ヲ行使スルノデアリマスル

●岡崎委員長 佐々木君ニ御注意致シ

マスガ、大體質問ハ打切ニナツテ居ル、ノハ、折角ノ此法案ノ恩典ト申シマス、特ニ關聯シテ居ルト云フコトヲ御許シカ、ソレニ浴スルコトガ出來ナイ、斯ウ致シタノデアリマスカラ、成ベク簡潔ニ願ヒマス

●佐々木委員 モウ一ツデス——今度御伺シテ見タイト思ヒマスルノハ、此補償法案ノ實施ニ當リマシテ、承ル所ニ依リマスルト法案ガ通過致シマスレバ、本年度ニ於テハ指定セラレタル地域ニ對シテ約一千萬圓程度ノ輸出ニ對スル補償ヲ爲サルト云フ御考ノヤウニ伺ヒマシタ、又一面ニ於テ參考書類ニ依リマスルト、是等ノ地域ニ對シテ約一億圓位ノ品物ガ現ニ出テ居ル、サウシテ更ニ其以上ニ是等ノ地方ニ對シテ多クノ輸出ヲ獎勵シタイト云フ御趣旨ダサウデアリマス、サウスルト既ニ一億モ出テ居リマスガ、之ハ其以上、一億何千萬カ、或ハ二億ガ、段々進ンデ行カナケレバ折角ノ目的モ達セスト云フコトニナリマス、然ルニ既ニ一億モ出テ居ルモノニ對シテ一千萬圓ノ補償ヲナサル、サウスルト其一千萬圓ト云フモノハ甲種ニ依ルカ乙種ニ依ルカ如何ナル手形ニ依ルカ分リマセスガ、既ニ一億圓アルモノニ對シテ一千萬圓ノ補償ヲフル、如何ニシテモ現在ト致シマシテ残りガ九千萬圓、更ニ進ンデ一億ニ、四千萬圓アルト致シマスレバ、要スルニ一千萬圓ヲ除イタ後ノモノト云フモ

●川久保政府委員 只今豫定シテ居リマス地方ニ對スル現在ノ輸出額ハ、一億圓程度ノモノデゴザイマス、ソレニ對シテ豫算ニ此際出シタ數字ヲ割出シタ根據ヲ一千萬圓ニ見テ居リマス關係カラ此一千萬圓ノ根據ニ依ツタ獎勵ダケデハ何等ノ效果ガナイノデハナイカト云フ御説デゴザイマスガ、是ハ先日來モ屢、御尋ガゴザイマシテ御答致シテ置イタ點デゴザイマスガ、只今ノ豫算ノ根據トシテ取りマシタ數字ハ一千萬圓デゴザイマスケレドモ、豫算外國庫ノ負擔契約トシテ九十三萬八千圓程ノモノヲ御協賛願フコトニナツテ居リマス、ソレダケノ政府ノ負擔ニ依リマシテ銀行ガドレダケノ輸出手形ヲ買進ンデ行クカト云フコトハ、今日豫定ハ出來ナイノデアリマス、吾々ガ取りマシタ計算ニ依ツテ參リマスレバ、一千萬圓ノモノガ少クトモ買取り得ルコトニナリマスカトニナリマスカラ、之ヲ「バック」トシテ

爲替銀行ガ輸出手形ヲ買取りマス數字ハ、此際豫斷ハ出來ナイノデゴザイマ、サウ云フ譯デゴザイマスカラ、少クトモ一千萬圓程度ノ輸出ヲ増加シ得ルモノデアツテ、御話ノ中ニ一億圓ノ中ニ一億圓ガ恩典ニ與リ、九千萬圓ハ恩典ニ與ラナイデハナイカト云フ御言葉モゴザイマシタケレドモ、從來出テ居リマシタ一億圓ハ、勿論今後ニ於テモ持續シ得ルモノト思ヒマス、此輸出補償法ノ適用ニ依ツテ更ニ一千万圓以上ノモトガ増加スルト云フ風ニ見テ居リマス、ソレカラ手形ハドウ云フ風ニ買取ラセルノデアアルカト云フ御尋デアリマスガ、手形ノ買取ニ付キマシテハ、政府ト契約致シタ銀行ノ見ル所ニ依ツテ買ハセルコトニ致シテ居リマス、此補償法ノ適用ニ依リマシテ、補償ハ甲種ニ於テ七割、乙種ニ於テ六割ヲ政府ガ補償致シマスノデ、後ノ三割若クハ四割ニ付テハ銀行ガ責任ヲ負フト云フコトニナリマスガ、銀行ハ自分ノ責任モゴザイマスカラ、其手形ニ付テハ十分ノ研究ヲ遂ゲ、サウシテ買取ヲ進メテ行クト云フノデアリマス

●佐々木委員 今ノ御答辯ニ依リマス、現在一億圓輸出ヲシテ居ル、ソレハ其儘ニシテ、是カラ更ニ一千万圓増加スル爲メ進ンデソレダケ發展スルデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、サウ致シマス、今日迄既ニ一億圓程ノ輸出ヲシテ居ラレマシタモノニハ、全然此取引ニ對スル補償ハ出來ナイコトニナルノデアリマスガ、詰リ何ト申シマスカ、取得權ト申シマスガ、優先權ト申シマスガ、現在マデ取引シテ居ッタ一億圓ハ全然之ニハ關係ガナイ、サウシテ今後新規ノモノ、一千万圓ガ此恩典ニ浴スルト、斯ウ云フ御話デアリマスガ、私ハサウハ思ハナイ、總テ此法案ヲ見タツケデハ、サウ云フ解釋ハ出來マセヌ、此運用ニ方ツテハサウ云フ御考デアラレマスガ、現ニ今日迄一億圓輸出ヲシテ居ル、ソレ等ノモノニ對シテハ全然此補償法ニ依ツテ補償シナイ、ソレカラ是迄違ツタ方面——違ツタ方面ト云ツテモ地域ハチャント決ツテ居リマスカラ、此部分ハ何處デナサル御考デアラ

●岡崎委員長 一寸佐々木君ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、此問題ハ先達カラ非常ニ繰返サレタノデアリマス、政府委員ノ御答辯ハ一億圓ノ上ニ一千万圓乃至二千万圓貿易ガ増加スルデアラウ、一千万圓シカ爲替ヲ買取ラント云フ答辯ハシテ居ラヌノデアリマス、一億圓ノ上ニ一千万圓ナリ二千万圓増加スル、斯ウ云フ豫定デアツテ、買取リ金額ガ五千万圓ニナルカ八千万圓ニナルカ

三千萬圓ニナルカ、銀行ノ基金——爲替基金損失ノ程度ニ依ッテ違フコト、斯ウ云フ御答辯ニ先日カラナッテ居リマス、一千萬圓シカ買取ラヌト云フコトニハナッテ居ラヌヤウデア

委員間デ議論ヲスルコトハ、是ハ委員會ノ規則ニ反スルコトデアリマスカラ、私ハ政府委員ノ御答辯ヲ煩シマスマス  
〔委員長 退席丹下理事委員長席ニ著ク〕

行ガ損ヲスルノデモナイ、然ラバ損失ト云フモノハ、甲種ニ於テハ非常ニ少クナル、乙種ニ於テハ五千萬圓ノ危険ガアリマス、危険ガ少ナクナレバ其程度ハ何程デモ、銀行ノ考ニ於テ必ズシモ一千萬圓ト限ッテ居ラス、斯様ニ私ハ解釋シテ居ル、其點ハ誤解デアッタカドウカヲ政府委員ニ質問スル

其便宜ヲ更ニ積極的ニ使ヒマシテ、更ニ他ノ一千萬圓ノ輸出ヲスルヤウニ進ムデアラウト見タノデアリマス、是ダケノ補償ガアリマスレバ從來一千萬圓ヤッテ居ル者ハ、更ニ一千萬圓ヲ加ヘテ二千萬圓ノ仕事ヲスルデアラウ、此點ニ於テ輸出ノ獎勵ニナルダラウ、斯ウ見テ居ルノデアリマス

●佐々木委員 委員長ノ説明モ私ハ能ク分リマセヌ、恐ラクハ豫算會議ニ於テ豫算ニ出テ居ルト思ヒマスガ、政府ガ補償スベキ金額ト云フモノハ、チャ

●岡崎委員 一寸今申上ゲタコトニ誤解ガアッテハ責任上重大デアリマスカラ、其點ニ付テ私自身カラ一寸申述ベマス、今語ガ足りナカッタト思ッテ居リマス、私ノ考デハ政府ハ成程一千萬圓ナリ一千五百萬圓ナリ補償ラシ、又輸出貿易ガ増加スル、斯ウ豫定シテ居リマスガ、損失ト云フモノガナケレバ補償金ハ要ラナイノデアアル、銀行ガ何モ損失ガナイトスレバ五千萬圓ガ七千萬圓ガ一億圓デモ買取ル筈デアアル、故ニ必ズシモ政府ハ一千萬圓、一千五百萬圓認メテモ損失ト云フモノガ起ラナケレバ、ソレハ餘程多數ニ買取ラレル、補償制度ノ下ニ實行ノ出來ル筈デアアル、銀行ハ其程度ニアル、況ヤ甲種ハ全部償還請求ヲ輸出者ガ受ケルノデアリマス、甲種乙種トナッテ居ッテ、乙種デハ輸出者ガ四割程度ニ於テ償還請求ヲ受ケルノデアリマスガ、甲種ニ於テハ全部輸出者ガ償還請求ヲ受ケル、例ヘバ三井ガ輸出スル、或ハ大倉ガ輸出スル、或ハ相當有力者ガ輸出スレバ、危険ト云フモノハ一錢一厘モナイ、政府ニモ一錢一厘ノ損失ニナッテ來ナイ、而シテ銀

●川久保政府委員 佐々木サンカラ御尋ノ點ニ對シテ御答致シマス、從來輸出シテ居ッタ一億圓ノモノニ對シテハ、此法案デハ足りナイデハナイデハナイイカト云フ御説デアリマスガ、從來輸出シテ居ッタ一億圓ト云フノハ、唯、數字ニ止マッテ居リマシテ、其ノ一億圓ノ爲ス迄出シテ居リマシタ箇々ノ商品、或ハ個々ノ人ヲ指シテ居ルノデアリマセヌ、ソレデ今日何人ト雖モ此地方ヘ輸出シヤウトシテ居ル人々ハ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケルノデアリマス、デアリマスカラ從來出シテ居ッタ人デ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケタルコト云フ人ハ、勿論手形ノ買取ヲ求メルコトガ出來ルノデアリマス、然ラバ其ノ一億圓ノ中ノ一千萬圓ダケガ、補助法ノ適用ヲ受ケルノデハナイイカト云フヤウナコトヲ御考ニナルト思ヒマスガ、私ハ其ノ點ニ付テハ總テ輸出貿易ヲヤッテ居ル人ハ、是ダケノ安心ガ出來ル、金融上ノ便宜ヲ得ラレマスレバ、

〔丹下委員長代理退席岡崎委員長復席〕  
●佐々木委員 岡崎サンノ意見ト私ノ御尋スルコトハ違ッテ居ル、岡崎サンノ仰ッシャイマシタノハ、政府ノ決濟ノ場合ヲ御考ナサッテ居ルノデアアルガ、私ハ決濟ノコトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレハ決濟シタ上デナケレバ、總仕舞デナケレバナンボ補償損失ガ起ッタカ分ラヌ、又一厘モ補償シナクテモ濟ム場合モアリマセウ、併ナガラ兎ニ角一千萬圓ト云フモノヲ見込ンデ、此豫算ヲ立テ、居ルノデアリマスカラ、先ヅ其以外ニハ此運用ガ出來ナイモノダラウト私ハ思ヒマス、今川久保政府委員ノ御答ノ、何等制限ガナイト云フコトニ付テハ私了解致シマシタ、其結果ドチラカト云ヘバ、其補償ニ依ッテ輸出シタイト云フコトハ殆ド恐ラク皆サンガ同一考ヲ有ッテ居ルト思フ、然ルニ一億以上ノモノヲ輸出致ストナリマスレバ、幾ラ要求ガアリマシテモ一千萬圓ノ補償

●佐々木委員 委員長ノ説明モ私ハ能ク分リマセヌ、恐ラクハ豫算會議ニ於テ豫算ニ出テ居ルト思ヒマスガ、政府ガ補償スベキ金額ト云フモノハ、チャ

●岡崎委員 一寸今申上ゲタコトニ誤解ガアッテハ責任上重大デアリマスカラ、其點ニ付テ私自身カラ一寸申述ベマス、今語ガ足りナカッタト思ッテ居リマス、私ノ考デハ政府ハ成程一千萬圓ナリ一千五百萬圓ナリ補償ラシ、又輸出貿易ガ増加スル、斯ウ豫定シテ居リマスガ、損失ト云フモノガナケレバ補償金ハ要ラナイノデアアル、銀行ガ何モ損失ガナイトスレバ五千萬圓ガ七千萬圓ガ一億圓デモ買取ル筈デアアル、故ニ必ズシモ政府ハ一千萬圓、一千五百萬圓認メテモ損失ト云フモノガ起ラナケレバ、ソレハ餘程多數ニ買取ラレル、補償制度ノ下ニ實行ノ出來ル筈デアアル、銀行ハ其程度ニアル、況ヤ甲種ハ全部償還請求ヲ輸出者ガ受ケルノデアリマス、甲種乙種トナッテ居ッテ、乙種デハ輸出者ガ四割程度ニ於テ償還請求ヲ受ケルノデアリマスガ、甲種ニ於テハ全部輸出者ガ償還請求ヲ受ケル、例ヘバ三井ガ輸出スル、或ハ大倉ガ輸出スル、或ハ相當有力者ガ輸出スレバ、危険ト云フモノハ一錢一厘モナイ、政府ニモ一錢一厘ノ損失ニナッテ來ナイ、而シテ銀

●川久保政府委員 佐々木サンカラ御尋ノ點ニ對シテ御答致シマス、從來輸出シテ居ッタ一億圓ノモノニ對シテハ、此法案デハ足りナイデハナイデハナイイカト云フ御説デアリマスガ、從來輸出シテ居ッタ一億圓ト云フノハ、唯、數字ニ止マッテ居リマシテ、其ノ一億圓ノ爲ス迄出シテ居リマシタ箇々ノ商品、或ハ個々ノ人ヲ指シテ居ルノデアリマセヌ、ソレデ今日何人ト雖モ此地方ヘ輸出シヤウトシテ居ル人々ハ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケルノデアリマス、デアリマスカラ從來出シテ居ッタ人デ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケタルコト云フ人ハ、勿論手形ノ買取ヲ求メルコトガ出來ルノデアリマス、然ラバ其ノ一億圓ノ中ノ一千萬圓ダケガ、補助法ノ適用ヲ受ケルノデハナイイカト云フヤウナコトヲ御考ニナルト思ヒマスガ、私ハ其ノ點ニ付テハ總テ輸出貿易ヲヤッテ居ル人ハ、是ダケノ安心ガ出來ル、金融上ノ便宜ヲ得ラレマスレバ、

其便宜ヲ更ニ積極的ニ使ヒマシテ、更ニ他ノ一千萬圓ノ輸出ヲスルヤウニ進ムデアラウト見タノデアリマス、是ダケノ補償ガアリマスレバ從來一千萬圓ヤッテ居ル者ハ、更ニ一千萬圓ヲ加ヘテ二千萬圓ノ仕事ヲスルデアラウ、此點ニ於テ輸出ノ獎勵ニナルダラウ、斯ウ見テ居ルノデアリマス

●佐々木委員 委員長ノ説明モ私ハ能ク分リマセヌ、恐ラクハ豫算會議ニ於テ豫算ニ出テ居ルト思ヒマスガ、政府ガ補償スベキ金額ト云フモノハ、チャ

●岡崎委員 一寸今申上ゲタコトニ誤解ガアッテハ責任上重大デアリマスカラ、其點ニ付テ私自身カラ一寸申述ベマス、今語ガ足りナカッタト思ッテ居リマス、私ノ考デハ政府ハ成程一千萬圓ナリ一千五百萬圓ナリ補償ラシ、又輸出貿易ガ増加スル、斯ウ豫定シテ居リマスガ、損失ト云フモノガナケレバ補償金ハ要ラナイノデアアル、銀行ガ何モ損失ガナイトスレバ五千萬圓ガ七千萬圓ガ一億圓デモ買取ル筈デアアル、故ニ必ズシモ政府ハ一千萬圓、一千五百萬圓認メテモ損失ト云フモノガ起ラナケレバ、ソレハ餘程多數ニ買取ラレル、補償制度ノ下ニ實行ノ出來ル筈デアアル、銀行ハ其程度ニアル、況ヤ甲種ハ全部償還請求ヲ輸出者ガ受ケルノデアリマス、甲種乙種トナッテ居ッテ、乙種デハ輸出者ガ四割程度ニ於テ償還請求ヲ受ケルノデアリマスガ、甲種ニ於テハ全部輸出者ガ償還請求ヲ受ケル、例ヘバ三井ガ輸出スル、或ハ大倉ガ輸出スル、或ハ相當有力者ガ輸出スレバ、危険ト云フモノハ一錢一厘モナイ、政府ニモ一錢一厘ノ損失ニナッテ來ナイ、而シテ銀

●川久保政府委員 佐々木サンカラ御尋ノ點ニ對シテ御答致シマス、從來輸出シテ居ッタ一億圓ノモノニ對シテハ、此法案デハ足りナイデハナイデハナイイカト云フ御説デアリマスガ、從來輸出シテ居ッタ一億圓ト云フノハ、唯、數字ニ止マッテ居リマシテ、其ノ一億圓ノ爲ス迄出シテ居リマシタ箇々ノ商品、或ハ個々ノ人ヲ指シテ居ルノデアリマセヌ、ソレデ今日何人ト雖モ此地方ヘ輸出シヤウトシテ居ル人々ハ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケルノデアリマス、デアリマスカラ從來出シテ居ッタ人デ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケタルコト云フ人ハ、勿論手形ノ買取ヲ求メルコトガ出來ルノデアリマス、然ラバ其ノ一億圓ノ中ノ一千萬圓ダケガ、補助法ノ適用ヲ受ケルノデハナイイカト云フヤウナコトヲ御考ニナルト思ヒマスガ、私ハ其ノ點ニ付テハ總テ輸出貿易ヲヤッテ居ル人ハ、是ダケノ安心ガ出來ル、金融上ノ便宜ヲ得ラレマスレバ、

其便宜ヲ更ニ積極的ニ使ヒマシテ、更ニ他ノ一千萬圓ノ輸出ヲスルヤウニ進ムデアラウト見タノデアリマス、是ダケノ補償ガアリマスレバ從來一千萬圓ヤッテ居ル者ハ、更ニ一千萬圓ヲ加ヘテ二千萬圓ノ仕事ヲスルデアラウ、此點ニ於テ輸出ノ獎勵ニナルダラウ、斯ウ見テ居ルノデアリマス

●佐々木委員 委員長ノ説明モ私ハ能ク分リマセヌ、恐ラクハ豫算會議ニ於テ豫算ニ出テ居ルト思ヒマスガ、政府ガ補償スベキ金額ト云フモノハ、チャ

●岡崎委員 一寸今申上ゲタコトニ誤解ガアッテハ責任上重大デアリマスカラ、其點ニ付テ私自身カラ一寸申述ベマス、今語ガ足りナカッタト思ッテ居リマス、私ノ考デハ政府ハ成程一千萬圓ナリ一千五百萬圓ナリ補償ラシ、又輸出貿易ガ増加スル、斯ウ豫定シテ居リマスガ、損失ト云フモノガナケレバ補償金ハ要ラナイノデアアル、銀行ガ何モ損失ガナイトスレバ五千萬圓ガ七千萬圓ガ一億圓デモ買取ル筈デアアル、故ニ必ズシモ政府ハ一千萬圓、一千五百萬圓認メテモ損失ト云フモノガ起ラナケレバ、ソレハ餘程多數ニ買取ラレル、補償制度ノ下ニ實行ノ出來ル筈デアアル、銀行ハ其程度ニアル、況ヤ甲種ハ全部償還請求ヲ輸出者ガ受ケルノデアリマス、甲種乙種トナッテ居ッテ、乙種デハ輸出者ガ四割程度ニ於テ償還請求ヲ受ケルノデアリマスガ、甲種ニ於テハ全部輸出者ガ償還請求ヲ受ケル、例ヘバ三井ガ輸出スル、或ハ大倉ガ輸出スル、或ハ相當有力者ガ輸出スレバ、危険ト云フモノハ一錢一厘モナイ、政府ニモ一錢一厘ノ損失ニナッテ來ナイ、而シテ銀

●川久保政府委員 佐々木サンカラ御尋ノ點ニ對シテ御答致シマス、從來輸出シテ居ッタ一億圓ノモノニ對シテハ、此法案デハ足りナイデハナイデハナイイカト云フ御説デアリマスガ、從來輸出シテ居ッタ一億圓ト云フノハ、唯、數字ニ止マッテ居リマシテ、其ノ一億圓ノ爲ス迄出シテ居リマシタ箇々ノ商品、或ハ個々ノ人ヲ指シテ居ルノデアリマセヌ、ソレデ今日何人ト雖モ此地方ヘ輸出シヤウトシテ居ル人々ハ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケルノデアリマス、デアリマスカラ從來出シテ居ッタ人デ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケタルコト云フ人ハ、勿論手形ノ買取ヲ求メルコトガ出來ルノデアリマス、然ラバ其ノ一億圓ノ中ノ一千萬圓ダケガ、補助法ノ適用ヲ受ケルノデハナイイカト云フヤウナコトヲ御考ニナルト思ヒマスガ、私ハ其ノ點ニ付テハ總テ輸出貿易ヲヤッテ居ル人ハ、是ダケノ安心ガ出來ル、金融上ノ便宜ヲ得ラレマスレバ、

其便宜ヲ更ニ積極的ニ使ヒマシテ、更ニ他ノ一千萬圓ノ輸出ヲスルヤウニ進ムデアラウト見タノデアリマス、是ダケノ補償ガアリマスレバ從來一千萬圓ヤッテ居ル者ハ、更ニ一千萬圓ヲ加ヘテ二千萬圓ノ仕事ヲスルデアラウ、此點ニ於テ輸出ノ獎勵ニナルダラウ、斯ウ見テ居ルノデアリマス

●佐々木委員 委員長ノ説明モ私ハ能ク分リマセヌ、恐ラクハ豫算會議ニ於テ豫算ニ出テ居ルト思ヒマスガ、政府ガ補償スベキ金額ト云フモノハ、チャ

●岡崎委員 一寸今申上ゲタコトニ誤解ガアッテハ責任上重大デアリマスカラ、其點ニ付テ私自身カラ一寸申述ベマス、今語ガ足りナカッタト思ッテ居リマス、私ノ考デハ政府ハ成程一千萬圓ナリ一千五百萬圓ナリ補償ラシ、又輸出貿易ガ増加スル、斯ウ豫定シテ居リマスガ、損失ト云フモノガナケレバ補償金ハ要ラナイノデアアル、銀行ガ何モ損失ガナイトスレバ五千萬圓ガ七千萬圓ガ一億圓デモ買取ル筈デアアル、故ニ必ズシモ政府ハ一千萬圓、一千五百萬圓認メテモ損失ト云フモノガ起ラナケレバ、ソレハ餘程多數ニ買取ラレル、補償制度ノ下ニ實行ノ出來ル筈デアアル、銀行ハ其程度ニアル、況ヤ甲種ハ全部償還請求ヲ輸出者ガ受ケルノデアリマス、甲種乙種トナッテ居ッテ、乙種デハ輸出者ガ四割程度ニ於テ償還請求ヲ受ケルノデアリマスガ、甲種ニ於テハ全部輸出者ガ償還請求ヲ受ケル、例ヘバ三井ガ輸出スル、或ハ大倉ガ輸出スル、或ハ相當有力者ガ輸出スレバ、危険ト云フモノハ一錢一厘モナイ、政府ニモ一錢一厘ノ損失ニナッテ來ナイ、而シテ銀

●川久保政府委員 佐々木サンカラ御尋ノ點ニ對シテ御答致シマス、從來輸出シテ居ッタ一億圓ノモノニ對シテハ、此法案デハ足りナイデハナイデハナイイカト云フ御説デアリマスガ、從來輸出シテ居ッタ一億圓ト云フノハ、唯、數字ニ止マッテ居リマシテ、其ノ一億圓ノ爲ス迄出シテ居リマシタ箇々ノ商品、或ハ個々ノ人ヲ指シテ居ルノデアリマセヌ、ソレデ今日何人ト雖モ此地方ヘ輸出シヤウトシテ居ル人々ハ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケルノデアリマス、デアリマスカラ從來出シテ居ッタ人デ、此輸出補償法ノ適用ヲ受ケタルコト云フ人ハ、勿論手形ノ買取ヲ求メルコトガ出來ルノデアリマス、然ラバ其ノ一億圓ノ中ノ一千萬圓ダケガ、補助法ノ適用ヲ受ケルノデハナイイカト云フヤウナコトヲ御考ニナルト思ヒマスガ、私ハ其ノ點ニ付テハ總テ輸出貿易ヲヤッテ居ル人ハ、是ダケノ安心ガ出來ル、金融上ノ便宜ヲ得ラレマスレバ、

其便宜ヲ更ニ積極的ニ使ヒマシテ、更ニ他ノ一千萬圓ノ輸出ヲスルヤウニ進ムデアラウト見タノデアリマス、是ダケノ補償ガアリマスレバ從來一千萬圓ヤッテ居ル者ハ、更ニ一千萬圓ヲ加ヘテ二千萬圓ノ仕事ヲスルデアラウ、此點ニ於テ輸出ノ獎勵ニナルダラウ、斯ウ見テ居ルノデアリマス

ヲスルヨリ外ニ現在資金ハナイ、ソレ  
デアリマスカラ輸出業者ノ全體ニ對シ  
テ希望ヲ充サシメルコトハ出 ナイ、  
斯ウ云フ風ニ思ハレマス、是以上ハ質  
問致シマセヌ、ソレデ大概分リマシタ  
●前田委員 之ニテ質問ヲ打切ッテ直  
ニ討論ニ移ラレンコトヲ希望致シマス  
●岡崎委員長 前田君ノ勸議ニ御異議  
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕  
●岡崎委員長 御異議ナシト認メマス  
●太田委員 質問ヲ終リマシテ討論ニ  
移リマシタヤウデアリマスカラ、本案  
ニ付テ一言申述ベタイト思フノデアリ  
マス、本案ハ過日來各委員カラ交々御  
質問ガアリマシテ、慎重審議ヲ盡サレ  
タヤウデアリマスルガ、之ヲ要スルニ  
政府ノ本案提出ノ理由書ニアルガ如  
ク、輸出貿易ヲ振興シ、國際貸借ヲ改  
善スル方策トシテ、極メテ有效ナリト云  
フ理由ガ附シテアリマスルガ、私ハ之  
ヲ以テ極メテ完全無缺ナリトハマダ少  
シ物足りヌヤウニ思フノデアリマス、  
併ナガラ現在ノ國際貸借ノ改善ヲスル  
方策ノ一トシテ適切ナル考デアル、斯  
様ニ私ハ本案ヲ信ジテ居リマス、唯、茲  
ニ私ガ最モ懸念致スコトハ、之ヲ取扱  
フニ當ッテ、其取扱フ銀行ガ如何ニ之ヲ  
公平ニ取扱フカ、ソレカラ之ヲ運用ス  
ルニ對シテ當局ガ甚大ノ注意ヲ拂ッテ、

運用其宜シキヲ得ナイト、本案ト云フ  
モノハ或ハ其效力ヲ少クスルヤウナコ  
トガアリハシナイカト私ハ思フノデア  
リマス、併ナガラ過日來ノ質問應答ニ  
依リマシテモ、政府ハ之ヲ實行ノ結果  
追々又改善ヲスル所ガアレバ、改善ヲ  
セラレルガ如キコトヲ仰セラレタヤウ  
デアリマス、例ヘバ豫算ノ増加ノ如キ  
モノモ、或ハ地域ノ擴張ノ如キモノモ、  
其範圍ヲ擴張セラレルヤウナ考ヲ持ッ  
テ居ラレルヤウニ私ハ推察致シタノデ  
アリマスルガ、果シテ然リト致シマスレ  
バ、本案ヲ速ニ施行シテ、サウシテ其運  
用ノ結果、追々是ガ改善ヲセラレルコ  
トガ私ハ適當ナリト思フノデアリマ  
ス、唯、茲ニ本案ハ過日來申述ベマシタ  
如ク、商工省、農林省ノ兩省ガ其生産物  
ニ對シテ輸出獎勵ノ指導開發ニ任ジ  
テ、更ニ取引信用ノ安全ヲ期スル調査  
機關ノ如キモノヲ特設スルニアラズン  
バ、或ハ此販路ノ擴張ヲ圖ル上ニ於テ  
其目的ヲ達スルコトニハ至ラナイノデ  
ハナイカト思ヒマスガ、是等ニ付テモ  
政府ハ相當考慮セラレテ、進ンデ此輸  
出貿易ノ振興ヲ圖ラレンコトヲ私ハ希  
望スルノデアリマス、而シテ此輸出業  
ニ從事スル所ノ従業者、即チ此輸出業  
關係ノ労働者ト云フモノ、適當ナ保護、  
是モ考慮ノ中ニ入ラレナケレバナラ  
ヌ、兎モ角ニモ本案ト致シマシテハ、此

甲種乙種ノ中ノ乙種ノ、所謂保險的意  
味ヲ加味シタル云々トアリマスガ、要  
スルニ此保險的ノ信用安全ヲ期スル制  
度ニ付テハ、追テ何等カ政府ニ於テモ  
十分御考ヲ願ヒタイト、斯ウ思フノデ  
アリマス、而シテ本案ハ兎ニ角會期切  
迫ノ場合ニ茲ニ提案ヲセラレタノデア  
リマスルカラ、修正等ヲ加ヘズ、政府提  
出ノ原案ノ儘ニ速ニ可決確定セラレテ  
本會ニ提出セラレンコトヲ私ハ望ムノ  
デアリマス  
●丹下委員 此案ニ對シマシテハ豫算  
トノ關係モアルコトデアリマスカラ、  
當委員會ニ於テハ賛否ノ意見ヲ保留致  
シマシテ、本會議ニ於テ吾々ノ態度ヲ  
表明スル考デアリマスカラ、左様ニ御  
承知ヲ願ヒマス  
〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ〕  
●前田委員 私共ハ本案ハ我國貿易ノ  
現下ノ状態ニ照シマシテ、極メテ緊要  
ニシテ且ツ適切ナルモノト認メマシ  
テ、賛成スルモノデアリマス、隨テ直ニ  
賛否ヲ決セラレンコトヲ願ヒマス  
●岡崎委員長 太田君ト前田君ノ意見  
ハ同一意見ト見テ差支ゴザイマセヌカ  
●太田委員 異議ナシ  
●岡崎委員長 然ラバ原案ノ賛成ノ方  
ノ御起立ヲ願ヒマス  
〔賛成者 起立〕  
●岡崎委員長 多數ト認メマス、本案

午後零時二分散會

昭和五年五月五日印刷

昭和五年五月六日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社